

初冬を迎えた群馬の山荘で、2人の「もったいながり」が歴史に取り残されたエンジンについて語りました。 宇宙開発についてのトークショーなどにも定期的に参加中の科学大好き、 知的好奇心満タンの作家で女優の藤谷さんは、このエンジンについては、まだまだ知らないことだらけ。

しかし、仕組みや歴史、利用法を中野さんとひも解いていくうち、 なんだかとても大切なことを発見してしまうのでした。

ふじたに あやこ

1979年、大阪府生まれ。13歳で6代目「三井のリハウスガール」としてデビュー。映画『ガメラ』シリーズなどへの出演のほか、庵野秀明監督作「式日』では主演はもちろん、自ら執筆した小説「逃避夢/焼け犬」(講談社)が原作となり、作家としての非凡な才能も話題に。現在、キネマ旬報社のサイト(http://www.theaterpark.jp/)にてズラム『もっか一軒家ラブあり□』連載中。

なかの ふじお

1950年、新潟県生まれ。『レーザー・メス 神の指先』で第21回大宅社ーノンフィクション賞を受賞。取材でおじゃました山荘は氏が数年間の週末をつぎこんでDIYしたもの。エネルギー関連の著書には『先端技術への招待〜エネルギー・医療・輸送』(中公新書/93年)も。独特の視点からの科学アプローチは、分野も業界も横断する軽妙かつ知的なアクロバティックさをほこる。



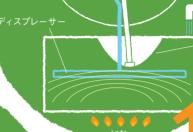


とってもふしぎ! どんな仕組みで 動くんですか?

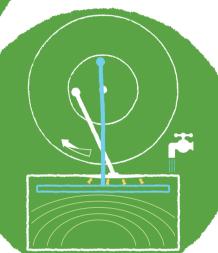


空気の膨張と 収縮だけで 動いています。

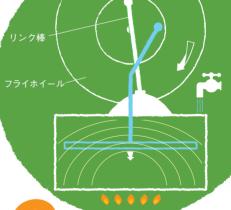




ディスプレーサーとダイアフ ラム(ピストン)は、位相差 90°を保ちながら上下するよ うになっている。(位相差とは、 タイミングのずれ。)ディスプ レーサーは空気を上下に入 れ換える働きをする。



ディスプレーサーが下へ移動 すると、空気は上面で冷やさ れて収縮する。その力でダ イアフラムが押し下げられ る。ダイアフラムの上下運動 は、リンク棒によって回転運 動に変換させられる。



空気はディスプレーサーの横 を通りぬけることができる。デ ィスプレーサーが上へ移動す ると、空気は下の方へ追いや られ、下面で温められるので 膨張する。膨張した空気はダ イアフラムを持ち上げ始め

ダイアフラムの力は、リンク棒 に伝わり、フライホイール (は ずみ車)を回転させる。

熱を加えると空気は膨張して圧力を増し、 冷やせば収縮して圧力を減少させる。スタ ーリングエンジンの基本原理は、このよう に相当シンプルなもの。

ふろくのエンジンは低温度差で動くスタ ーリングエンジンだが、高温度差タイプの ものもある。一般的な特長としては、蒸気

利用する外燃機関であるゆえに、ガソリン エンジンやディーゼルエンジンなどの内燃 機関と違い、不完全燃焼による一酸化炭素 や炭化水素などの排出を抑えることができ る比較的クリーンなエンジンであること。 また、熱効率もガソリンより高く、ディ ーゼルの40%と同じ。そんなことから「省 機関などと同様、シリンダ外部からの熱を エネエンジン」としての呼び声も高い。

注目したいのは、可逆エンジンとしての 側面。熱を動力に変えるのがこのエンジン であるが、逆に、動力を熱に変えることも 可能なのだ。モーターなどで動力軸を回転 させれば、一方は加熱し、他方は冷却する ことができる。「夢のエンジン」と言われる 由縁はこのように随所にある。